



チューリップだより

No.5

すすんで学ぶ巣本っ子
も 萌える活動育成協
と ともに歩む公民館

五泉市立巣本小学校

H29. 8. 29

「めあてを立てて取り組む」

校長 石田 雄介

長かった夏休みを終え、始業日に子どもたち全員が元気に登校してくれました。早めに学校生活のリズムに戻させ、健康管理に十分気をつけて2学期を進めて参ります。

2学期は子どもたちの力を伸ばす絶好機です。私は始業式で子どもたちに話しました。

今日から2学期が始まります。生活のリズムをきりっと整えて、しっかりと学習し、友達と助け合って行事や活動に参加しましょう。

学校生活が最も充実するのが2学期です。「一人一人が力を付け、大きく成長する学期」にしてほしいです。そのために、3つのことを大切にしてください。

1 「めあてを立てること」

…どんな自分を目指すか、自分のめあてを立てましょう。

2 「考えてやってみること」

…めあてを達成するにはどうしたらいいか、考えて取り組みましょう。

3 「ふり返りをする事」

…取り組んだ後でふり返り、自分の◎と△を見つけましょう。

2学期も、す・も・とです。進んで取り組み、問題を見つけ、友達と聴き合い・考え合って自分の力を伸ばしていきましょう。

今学期も日々の授業を充実させると共に、様々な行事を子どもたちの力を伸ばす好機ととらえ、子どもたち一人一人の力を伸ばしていきます。友達と高め合い、楽しく充実した学校生活が送れるように支援して参ります。

< 8、9月の主な予定 >

30日(水)避難訓練・引渡し訓練

1日(金)発育測定(1～3年)

4日(月)発育測定(4～6年)

育成協あいさつ運動

6日(水)市研修会のため短縮5時間

7日(木)6年佐渡修学旅行①

8日(金)6年佐渡修学旅行②

12日(火)子ども貯金日、音楽朝会

4年川の水質調査

～秋の交通安全運動(9月21日～29日)～

13日(水)交流給食・交流遊び

15日(金)1,2年校外学習(田上・YOU遊ランド)

19日(火)小中連携あいさつ運動

21日(木)6年貧血検査

22日(金)早出川クリーン活動(弁当用意)

27日(水)祖父母参観(5限)14:00～14:45

25日(月)クラブ(前期最終)

29日(金)委員会活動(後期開始)

★10月1日(日) 五泉市地域防災訓練(会場: 巣本小学校、グラウンド)

○小学校児童・保護者だけでなく、巣本地域をあげて防災意識を一層高めていく訓練となります。
今から予定に入れて頂き、ご参加くださいますようお願いいたします。

アンケートでみる1学期の学校評価

(1) 児童アンケートより

(全校児童数93名、回収数93)

Ⅰ. 学習にかかわる内容		肯定的な回答
1	自分の考えを分かりやすく話すことができる。	75.3%
2	友達と協力し合って学習や活動をすることができる。	75.3%
3	話し合いを通じ、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。	91.4%
4	国語の学習が好きである。	75.3%
5	国語の学習がよく分かる。	95.0%
6	算数の学習が好きである。	78.5%
7	算数の学習がよく分かる。	94.6%
8	読書が好きである。	90.3%
9	友達や先生の話をよく聞いている。	95.7%
10	学年×10分の家庭学習をしている。	89.2%
11	自分でめあてや計画を立てて家庭学習をしている。	88.2%
① チャレンジテスト到達目標達成割合と設問3 肯定的評価割合の平均値		79.3%
② NRT学力検査の2～6年偏差値平均		国語 51.6 算数 54.2

【学習面について】

※①②はアンケートではなく、学校集計データです。

4月に行ったNRT学力検査の結果は標準値50を越えています。また、①の結果も、設定目標値の75%以上を上回りました。国語や算数の学習がよく分かったと回答した児童の割合がたいへん高いことから、授業の分かりやすさや基本となる知識の習得状況はほぼ良好であると考えます。しかし、設問1.2のように、自分の考えを伝える表現力や友達とかかわって学ぶ力は、子どもたち自身もまだ十分身につけていると考えていません。

また、学習はよく分かるのに、「国語や算数の学習が好きである」という児童の割合が70代にとどまっていることから、学校は<子どもたちが楽しく学習できる授業づくり>に一層尽力する必要があります。2学期は、NRT学力検査結果やチャレンジテストの誤答傾向の分析をもとに改善策を立て、それを授業に生かすことで、子どもたちの学力を一層確かなものにしていきます。また、子どもたちの学習意欲を高める課題を工夫し、聴き合い考え合う学習づくりを目指して参ります。

尚、家庭学習の目安である「学年×10分以上」は定着してきており、家庭学習時間はおおむね満足できる状況です。今後は、家庭学習を授業と関連付けた内容にするなど質的に高めていくことと、自分で計画を立て実行していくことに力を入れていきます。なかなかめあてが達成できない子どもたちについては個別指導を充実させ、ご家庭のご協力をいただきながら、家庭学習習慣の定着を図って参ります。

Ⅱ. 生活や体力にかかわる内容		肯定的な回答
12	学級やスマイル班などで、みんなで活動することが楽しい。	95.7%
13	いろいろな友達と仲良く過ごしている。	95.7%
14	進んで身体を動かして遊んだり運動したりしている。	97.8%
15	ありがとう、ごめんなさいと言える。	97.8%

16	当番や係の仕事に進んで取り組むことができる。	96.8%	
17	難しいことでも、できるまでがんばろうとする。	92.5%	
③	体力テストで県平均値を越えた種目	96 種目中60種目で達成	62.5%

【生活・体力面について】

※③は学校集計データです。

「全職員で全校児童を育てる」という構えのもと、学級のワクにとらわれず子どもたち一人一人を見つめ、学校生活が充実するように努めて参りました。「学校が楽しい」「友達となかよく過ごしている」と答えている子が約96%となっており、喜んでおります。

しかし、否定的な回答をしている子どももおりますので、今後も子どもたち一人一人の悩みや困りをいち早く発見し、すぐに対応できるよう全校体制で取り組んで参ります。設問16,17の回答から分かるように、仕事や物事への真面目な取り組み方やねばり強さは、巢本っ子の素晴らしさの一つです。

体力テストは、県平均を上回った種目が62.5%で、昨年度より低い結果でした。ほとんどの子どもたちが進んで体を動かして遊んだり運動したりしていると答えていますが、50M走や反復横跳びがやや低い達成度です。おにごっこ等の俊敏性を高める遊びを奨励したり、イキイキタイム（業間運動）や日頃の体育での授業で工夫や改善をしたりすることが、子どもたちの体力向上に効果を上げていくものと考えます。2学期は、マラソン練習やなわとび練習に力を入れ、自分のめあてを立てて体力づくりに励ませます。

Ⅲ. 自己有用感や将来の職業観にかかわる内容		肯定的な回答
18	自分には良いところや得意なものがあると思う。	84.9%
19	自分のやりたいことを自分の考えで選ぶことができる。	89.2%
20	自分の役割を果たすことで、みんなの生活や社会の役に立つと思う。	98.9%
21	世の中にはたくさんの種類の仕事があることが分かる。	96.8%
22	将来なりたい職業ややってみたいことがある。	87.1%
23	地域が好きで、校区や地区の良いところがある。	90.3%

【自己有用感、職業観について】

自分の良さが分かる子は、自信をもって話し、行動できるようになります。設問18では約85%の子どもが肯定的評価をしています。また自分の良さに気付いていない子もいます。しかし、ほとんどの子が「自分は役割を果たすことで、みんなの役に立てる」と考えていることから、子どもたちのやる気や気持ちには高いものがあることが分かります。

今後も友達同士、互いに互いの良さを見つけて認め合う活動や、互いの優しさを実感できる活動を継続して行い、一人一人の自己有用感を高めていきます。また、学校全体で子どもの良さを認め、大いに褒め、子どもたちに自信を持たせていきます。

さらに、教師が指導するだけでなく、スマイル班活動を学校生活の様々な場面で活用します。子どもの力は時に大人もしのぎます。子どもたち同士の声の掛け合いや、子どもならではの発想を生かした交流活動を取り入れ、子どもたちの人間関係を広げ、誰もが居心地の良い学校となるように努めて参ります。

児童アンケートは児童自身による評価です。教師や保護者の評価とズレがある面もありますが、私たちは子どもたちの思いや願い、自分なりの努力を大切にするため、実施しています。

(2) 保護者アンケートより

(回収数91)

Ⅰ. お子さんの学校生活について		肯定的な回答
1	お子さんは、楽しんで学校に行っている。	95.6%
2	お子さんは、友達と仲良く過ごしている。	96.7%
3	お子さんは、地域の人にあいさつをしている。	80.2%
4	お子さんは、進んで体を動かして、遊んだり運動したりしている。	90.1%
5	お子さんは、国語の学習が好きである。	68.1%
6	お子さんは、国語の学習内容をよく理解している。	67.0%
7	お子さんは、算数の学習が好きである。	76.0%
8	お子さんは、算数の学習内容をよく理解している。	75.8%
9	お子さんは、進んで自分の考えを話している。	75.0%
10	お子さんは、人の話に耳を傾けよく聞いている。	72.5%
11	お子さんは、学年×10分の家庭学習に取り組んでいる。	74.7%
12	お子さんは、メディア使用2時間以内になるよう気をつけて生活している。	42.9%
13	ご家庭で、学校からの各種便りに目を通すようにしている。	100.0%
Ⅱ. 学校の対応について		
14	学校は、お子さんの状況について、家庭と連携をとっている。	94.4%
15	学校は、各種便りや懇談会等で、教育方針や活動内容を伝え、家庭や地域と連携して教育を進めようとしている。	98.9%

1 学期末の学校評価アンケートにご協力いただき、大変ありがとうございました。ご多用のところ、各項目について温かくまた厳しく評価くださり、感謝申し上げます。

児童アンケート同様、「楽しく学校に行っている」「友達と仲良く過ごしている」の評価が高かったことが、学校として一番うれしいことです。これからも“行きたくなる魅力ある学校づくり”を進めて参ります。

一方、アンケート結果からみると、次の3点が課題となります。

- (1) 地域でのあいさつをもっと良くすること。
- (2) 学習の理解度をさらに上げること。
- (3) メディア使用時間の改善を図ること。

「あいさつ」については、育成協の方々からご協力頂くこと、小中連携あいさつ運動を行うこと、子どもあいさつ隊を編成し校内を回することを2学期も継続してまいります。子どもたちの力で改善を図らせたいと考えておりますが、ぜひご家庭の中や地域の中でも率先して範を示し、子どもたちにあいさつの声がけをお願いいたします。

学習面については前述のとおり取り組んで参ります。ご家庭でも小さなことで結構ですので、お子さんの頑張りを認め、たくさん褒めることで子どものやる気を引き出してくださいようお願いいたします。

メディアの接し方については、五泉市内の小中学校が足並みをそろえて改善に取り組んでいます。「節度を持ち、自分でメディアを使用する時間や場面を調節できる子どもに育てたい」という願いのもと、ご家庭でのご協力を仰いでおります。子どもの心身の健やかな成長のために、2時間という目安の時間を守っていけるよう取り組んで参りましょう。

アンケートへのご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

